



み や ぎ

- 2 5 号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 清野 仁
 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホムページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●●

良い医療を安全に、心を込めて

新 病 棟 開 棟 に 向 け て



宮城病院では4階建ての新病棟の建築と平成13年に建てられた神経難病病棟の増築が急ピッチで進んでいます。予定では今年11月末には完成し、現在使用している古い病棟の入院患者さんにはいずれかの病棟に移って頂くことになり、2つの建物で計344床の病院として新たなスタートを切ることになります。病室の特徴としては個室が計56室と大幅に増えることが挙げられます。今回の建て替えは単に箱ものの更新ということに留まらず、またとない機会ですので今後の宮城病院が担っていくべき医療を十分に見据えて、各病棟の特色をどのように出していくかを検討し、準備を始めています。

副院長 久永 欣哉

宮城病院が担っていくべき医療を見据えるには、患者さんのニーズがどこにあり、そのうち当院が担うことが可能な医療分野が何かを考える必要があります。第一には周辺地域の患者さんのニーズがありますが、当院は診療科が限られており、地域医療のうちどの分野を担うかはある程度絞らざるを得ません。例えば脳外科医・神経内科医が多い当院は脳卒中をはじめとした脳疾患に関しては山元町・亘理町のみならず、現在は専門の常勤医が不在の福島県相馬地区など周辺地域のニーズにもできるだけ応えていく必要があります。一方、脳疾患以外の分野の医師数は少なく、地域のクリニックの先生方や周辺地域および仙台の総合病院との連携が大変重要になります。既に障害のある高齢者の方など遠地の総合病院で受け入れられにくい患者さんの2次救急医療のための入院や、総合病院での急性期治療を終えられた近隣の患者さんのフォローアップ入院には適していると思われま

す。当院の病棟は地域の開放型病床としての役割も担っていますが、入院に至らなくてもCTやMRIの共同利用・放射線科医師による画像診断などにより地域のクリニックの先生方のニーズにも応えていければと考えております。

一方で、国立病院機構の病院には一般病院では診療困難な特殊な医療分野を担うことが期待されています。当院では神経難病と重症心身障害がこれに当たります。これらは県内全域、あるいは疾患によっては隣県を含めた広い範囲の患者さんのニーズに応えることが求められています。このニーズに応えるためには多くのマンパワーが必要であり、またスタッフの専門性を高めていく努力を常に続けていかなければなりません。

新しい病棟では、これらのいくつかの役割りを効率よく果たしていけるように工夫をしていきたいと考えておりますので、御支援・御協力を宜しくお願い致します。

第16回 仙南地域医療カンファレンス開催



平成22年6月15日(火)、当院大会議室において第16回仙南地域医療カンファレンスが行われました。今回は、東北大学医工学研究科リハビリテーション医工学分野教授 出江 紳一先生に、ご専門の立場からコーチングについてお話しいただきました。コーチングについては地域の皆様の関心も高く、院内外合わせて123名の方にご参加いただき誠にありがとうございました。

出江先生からは、「リハビリテーション診療に活かすコーチング」という演題で、コーチングについてご講演いただきました。

出江先生は初めに、コーチングは欲求を引き出し、行動を促進するコミュニケーション技術であるという基本の部分について話されました。また、相手と継続的に関わること、双方向のコミュニケーションであるというコーチングの特徴、それが自己効力感の向上（自分が出来ることへの希望が生まれ、逆に否定的な気持ちになりにくくなること）に繋がるということについても説明され、病気にかかっている方は否定的な気持ちになりやすい中、コーチングは患者さんの行動力や意欲に良い影響を与えるということ、研究の結果や患者さんの感想からご紹介されました。出江先生は最後に、コーチングを医療安全へと使うことが出来るのではないかと話され、コーチングの可能性について強調されていました。

お忙しい中、多数の方々にご参加いただきありがとうございました。次回も皆様のご参加をお待ちしております。

(地域医療連携室 森山 勇介)



職場紹介

～リハビリテーション科～



リハビリテーション科は理学療法部門、身体作業療法部門、言語聴覚療法部門の3部門で構成されています。

理学療法は大きく運動療法と物理療法とに分けることができます。8人のスタッフそれぞれの得意分野を生かし、病気やケガ、あるいは長期臥床などによって障害を受けた方々の運動機能（能力）の改善・回復のお手伝いをさせていただいています。

作業療法部門では病気や事故などで身体に障害のある方に様々な作業を通じて治療、指導し早期に社会復帰が出来るよう援助します。6人のスタッフが、患者様が日常生活をスムーズに送っていただくための手助けをしています。

言語療法では4人のスタッフが、ことばと声の障害に対しリハビリを行っています。また、聴力検査、高次脳機能障害に対する訓練、心理検査、コンピューターを用いたコミュニケーション訓練も行っています。

スタッフ一同、信頼され満足していただける医療サービスを提供できるよう励んでおりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(言語聴覚士長 高橋 信雄)

紹介医療機関 (6月末日現在) ご紹介ありがとうございます。

- ・松村クリニック (29件)
- ・公立相馬総合病院 (17件)
- ・広南病院 (14件)
- ・南東北病院 (11件)
- ・相馬中央病院 (10件)
- ・平田外科医院 (23件)
- ・三浦クリニック (16件)
- ・仙台厚生病院 (11件)
- ・浜吉田駅前内科 (10件)
- ・阿部クリニック (9件)

上位10医療機関のほか、県内外88医療機関からご紹介いただいております。



看護師等実習指導者講習会

平成22年5月19日(水)～7月13日(火)、平成22年度国立病院機構北海道東北ブロック看護師等実習指導者講習会が仙台医療センターで行われ、2名の副看護師長が受講しました。



今回の研修で教育とは一方的ではなく、評価する人と評価される人との相互作用が無いと効果が上がらないということ学びました。今までの自分の指導がよかったのか、これでいいのかと不安だったのは、この評価の部分が不十分だったからだ気づく機会となりました。評価は自分の行動をもっと良いものにするためのものであり、学生の言動やレポート、実習記録等の情報から自分の指導方法・指導内容についての評価を行い、次の指導の改善や調整の計画を立てることであり、反省のみに留まっていたは評価にならないことが理解出来ました。実習指導者の役割は、学校の目的・目標に沿って学生のレディネスを理解し、学生が患者におきていることを自分の言葉で意味付け出来るように支援することであり、学生が生涯に渡って看護に興味を持って歩んでいけるように経験の質を高める

ことであると認識出来ました。看護教育は看護実践能力と教育実践能力の両方をバランス良く持たねばなりません。今まで自分は学校の目的目標や学生のレディネスを十分に理解しての指導が出来ていませんでしたし、病棟スタッフに対してもその重要性を伝える知識がありませんでした。これからは教育原理や教育心理を土台にしながら研修で学んだことを少しでもスタッフに伝えていければと思っています。そして、学生が実習しやすい環境(学習目標にあった指導案・日案づくり、目標や達成度の共通理解、学生への声掛けや雰囲気づくり)と指導しやすい病棟の環境づくり(指導者が学生に関われる体制づくりやスタッフに知識を増やしてもらえようすることなど)を目指して行きたいと考えています。

実際の実習指導案作成に於いては、グループワークを通して看護の主要概念の共通理解から教材観・学生観・指導観を明確にしていきましたが、グループ間で自分達の考えを共通理解し言語化することは容易なことではありませんでした。まず、自分の看護観を明確にすることが前提にあり、具体化と抽象化を行ったり来たりしながら、説得力ある言葉で発言していくことの難しさを実感しました。多くの時間を費やして、「人間とは何か、看護とは何か」ということをこんなに深く考えることができて大変有意義な時間でした。

二ヶ月間の実習指導者講習会に参加させて頂き、本当にありがとうございました。

(3病棟副看護師長 中鉢 則子)

私は、この講習会で学びたいこととして「効果的な実習指導の方法」「やる気を引き出す指導方法」「教育とは何を意味するのか」という3点を挙げていました。学びたいことをレポートとしてまとめた時は、学生や新人の特徴と教育課程が分かり、そこから指導案を導き出せば挙げていた3点が学べるのではないかと考えていました。しかし、授業と演習が進んでいくと実はそのような単純なことではないことに気がつきました。看護論演習では看護の主要概念である人間・環境・健康・看護をグループで共通理解することを通して、自分の看護観を深めることができました。それを受けて仮説校の教育理念や目標、各実習の目的・目標の共通理解をし、教材観・学生(学習者)観・指導観を導き出し、指導案の作成まで至ることができました。効果的な実習指導の方法や、やる気を引き出す指導方法は、短絡的に学生の特徴や教育課程が分かればその方法が見えてくるものではありません。看護の主要概念の上に自分の看護観があり、それらが全ての土台となります。その土台の上に各学校の教育理念や各実習の目的・目標があります。そして、教育理念や各実習の目的・目標に書かれてある意味を理解し、受け入れている実習は全体のどこにあたるのか、教材観・学生(学習者)観・指導観をどのように捉えるのか、それらが整ってはじめて指導案が導き出せます。そこから効果的な実習指導の方法や、やる気を引き出す指導方法が見出せるようになると学びました。



教育とは何かについては、教育原理の中で、教育とは学習者が人間として発達するようにすること、応答することでありコミュニケーションが重要であると学びました。

講習会の全体を通して、文章を読むと理解できたように思えますが、一つ一つの言葉の意味を自分が他者に説明できるまで理解することが大切だと学びました。それができてはじめて本当に理解できたといえるということがよく分かりました。

このような機会を与えていただき、関係者の皆様に深く感謝いたします。(1病棟副看護師長 小林 智美)

診療案内

平成22年7月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
			米地 稔	米地 稔	米地 稔	米地 稔
						仙台医療センター医師
神経内科	新患	久永 欣哉	清水 洋	大隅 悦子	松本 有史	伊藤 博明
	再来	今井 尚志	今井 尚志	久永 欣哉	久永 欣哉	清水 洋
		平岡 宏太良 (高次脳機能障害)	伊藤 博明	松本 有史		
呼吸器科			芦野 有悟			
消化器科				県立がんセンター (13:30~15:30)		
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
整形外科						県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科						澤村 武 東 秀子 隔週交代 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科	新患				大隅 悦子	
	再来	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐
放射線科(画像診断)				齋藤 美穂子		
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	久永 欣哉	清水 洋	大隅 悦子	松本 有史	伊藤 博明
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来	平岡 宏太良				
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	久永 欣哉	清水 洋	大隅 悦子	松本 有史	伊藤 博明

受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2,625円を負担していただく**こととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。
高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から

JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

